

PC/AT互換機用

# DV静止画 キャプチャーボードキット

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の  
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのう  
え、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管して  
ください。

# DVBK-1000



**警告**

# 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

このDV静止画キャプチャーボードキットは、第二種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

# 目次

安全のために .....	2
--------------	---

## お使いになる前に

本機の概要 .....	4
この説明書について .....	5
必要なシステム .....	5
ユーザー登録のしかた .....	6
付属品を確かめましょう .....	7

## 接続する

ボードを取り付ける .....	8
デジタルビデオ機器をつなぐ .....	9

## インストールする

インストールする .....	10
アンインストールする .....	15

## 画像を取り込む(キャプチャー)

キャプチャーソフトを起動する .....	16
キャプチャー画面の見かた .....	17
画像を取り込む .....	18

## 保存した画像を見る(ビューワー)

ビューワーソフトを起動する .....	19
ビューワー画面の見かた .....	20
画像をデコードして見る .....	21
画像をデータ変換して保存する .....	21

## その他

主な仕様 .....	22
故障かな?と思ったら .....	23
保証書とアフターサービス .....	24
技術解説 .....	25

お  
使  
い  
に  
な  
る  
前  
に

接  
続  
す  
る

ソ  
フ  
ト  
ウ  
ェ  
ア  
を  
イ  
ン  
ス  
ト  
ー  
ル  
す  
る

画  
像  
を  
取  
り  
込  
む  
(  
キ  
ャ  
プ  
チ  
ャ  
ー  
)

保  
存  
し  
た  
画  
像  
を  
見  
る  
(  
ビ  
ュ  
ー  
ワ  
ー  
)

そ  
の  
他

# 本機の概要

本機は、キャプチャーボードにキャプチャーソフト、ビューワーソフトの2つのアプリケーションをセットにしたものです。それぞれのアプリケーションは次のような機能を持っています。

## キャプチャーソフト

パソコンに伝送された画像を画面で確認しながら、静止画像としてパソコン上に取り込むことができます。また、取り込んだ画像の録画情報などを参照することもできます。

## ビューワーソフト

キャプチャーソフトで取り込んだ静止画像を、デコードして表示します。また、BMP形式に変換して保存し直すこともできます。

## 静止画像の保存形式

キャプチャーソフトは、画像を取り込んだ時点で、ハードディスク上に静止画像を保存します。保存形式はDV形式(拡張子.DVF)になります。ファイル名は自動的に作成されます。

## DV形式とは？

DV形式とは、DV方式のデジタルビデオと同じアルゴリズム(方法)によって画像を圧縮する保存形式です。一枚の静止画像(720×480ピクセル、1677万色)を約120KBに圧縮できます。

キャプチャーソフト上で確認できる動画および静止画像は簡易デコードされた状態のものです。静止画像を元の画像に戻す(デコード)には、ビューワーソフトを使います。なお、ビューワーソフトを使って静止画像をBMP形式に変換すると、一枚の静止画像(640×480ピクセル、1677万色)のサイズは約1MBとなります。

## 画像の管理方法

キャプチャーソフトは、静止画像をアルバムごとに管理します。アルバムとは、いくつかの画像をひとまとめにしたもので、ちょうど写真に対するアルバムのような関係です。アルバムは、アルバムファイルによって管理されます。アルバムファイル(拡張子.DVA)は、そのアルバムに属する画像ファイルを記述したファイルで、それ自体に画像データは含まれません。

キャプチャーソフトは、アルバムファイルの保存場所(初期設定ではC:¥DVCAP¥WORK)にアルバムファイルと同名のディレクトリを作成し、その中に画像ファイルを格納しています。ひとつのアルバムは、100個まで画像ファイルを格納できます(使用条件などにより、枚数が制限されることがあります)。

# この説明書について

この説明書では、キャプチャーボードキットDVBK-1000およびWindows版キャプチャーソフト、ビューワーソフトのインストール方法と使いかたについて説明しています。

キャプチャーソフトおよびビューワーソフトのソフトウェアに関する最新の情報は、付属のフロッピーディスク内のreadme.txtファイルに入っています。Windowsに付属の「メモ帳」などでご覧ください。

また、メニューオプションの内容などについては、ヘルプ機能の中に収められているものもあります。ご使用の際はヘルプもあわせてご覧ください。

## 必要なシステム

本機をお使いいただくには、次のようなハードウェア、ソフトウェアが必要です。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATまたは互換機

ミ CPU i486DX2 66MHz以上

ミ ISAバス1スロット

ミ メインメモリ8MB以上

ミ 640×480ピクセル、65536色以上を表示可能なビデオボードおよびディスプレイドライバ  
(1024×768、65536色以上を推奨)

ミ VRAM 1MB以上

Microsoft Windows 3.1J (Windows 95動作確認済み)

空き容量10MB以上のハードディスク

640×480ピクセル、65536色以上を表示可能なディスプレイ

# ユーザー登録のしかた

弊社のユーザーサポートをお受けいただくために、「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読みの上、「ご愛用者登録カード」に必要事項を記入して必ずご返送ください。

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

本製品およびソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負い兼ねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

Program © 1996 Sony Corporation

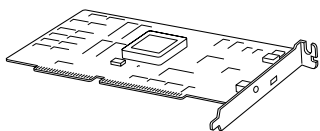
Documentation ©1996 Sony Corporation

- 
- Microsoft、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
  - IBM、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
  - 486DX2は米国Intel Corporationの商標です。
  - その他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

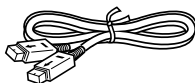
# 付属品を確かめましょう

以下の付属品がそろっているか確認してください。  
 付属品の中に欠けているものがあるときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

・ DVキャプチャーボード(1枚)



・ DVケーブル(1本)



・ LANCケーブル(1本)



- ・ 3.5型フロッピーディスク
- ・ 取扱説明書
- ・ ご愛用者登録カード
- ・ 保証書

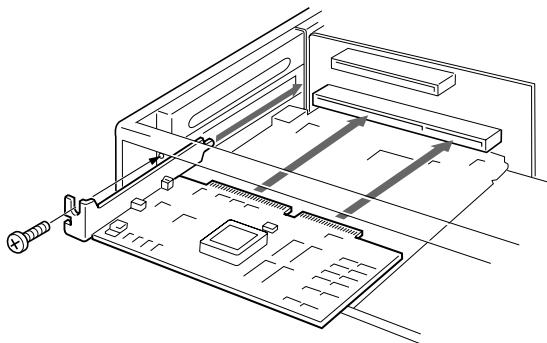
接続する

# ボードを取り付ける

## 取り付ける時のご注意

- ・ ボードの取り付けや取りはずしは、必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままボードを取り付けたり取りはずしたりすると、ボードやパソコン本体、周辺機器が破損することがあります。
- ・ ボードの部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が破壊されることがあります。ボードに触る前には、金属製のものに触れて体内の静電気を放電してください。
- ・ ボードの消費電流がパソコン本体の最大供給電流を超えないようご注意ください。DVBK-1000の消費電流は最大0.6Aです。他のボードも取り付けで使用している場合は、そのボードの取扱説明書で消費電流を確認してください。
- ・ じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でボードの部品が壊れてしまうことがあります。
- ・ コネクター部に直接手を触れないように注意してください。
- ・ ボード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないように注意してください。
- ・ ボードをパソコンから取り外すときは、必ずパソコンのボードの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くとボードやパソコンの故障の原因になります。
- ・ ボードを水で濡らさないでください。

- 1** パソコンの電源を切る。  
ボードの抜き差しの際は、危険ですのでコンセントは必ず抜いておいてください。
- 2** パソコンのケースを開ける。
- 3** スロットに装着する。  
ISAバススロットにしっかり奥まで差し込んでください(イラストは一例です)。

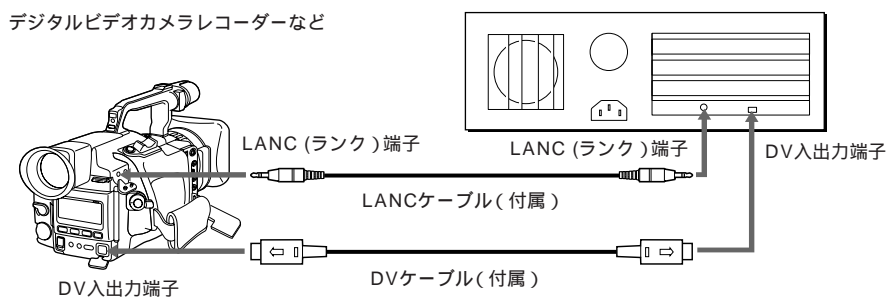


- 4** ケースを閉め、パソコンの電源を入れる。



# デジタルビデオ機器をつなぐ

DVケーブルとLANCケーブルを使って、DV端子付きのデジタルビデオ機器を接続します。



接続する

## ご注意

- ・ 付属の接続ケーブルを使ってください。種類の違う接続ケーブルを使うと、故障の原因となることがあります。
- ・ 接続ケーブルはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと故障の原因となることがあります。
- ・ 接続端子の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショートして故障の原因となることがあります。

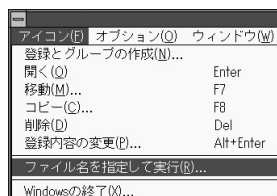
インストールする

# インストールする

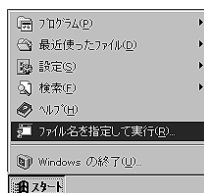
キャプチャーソフトとビューワーソフト、およびヘルプファイルなどをハードディスク上にインストールします。インストールを始める前に、ボードが正しく装着されているかどうかを確認してください。

- 1 Windowsを起動する。
- 2 付属のインストールディスクのDisk 1 をパソコンのフロッピーディスクドライブに挿入する。
- 3 Windows 3.1の場合は、プログラムマネージャの「アイコン」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選ぶ。  
Windows 95の場合は、「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選ぶ。

Windows 3.1の場合

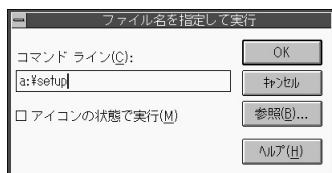


Windows 95の場合

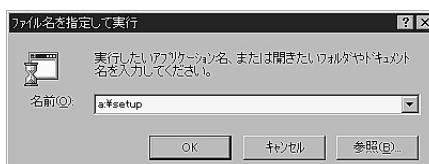


- 4 「a:¥SETUP」とタイプする。  
フロッピーが他のドライブに設定されているときは、a:の部分を設定されているドライブに変えて下さい。

Windows 3.1の場合



Windows 95の場合



- 5 [OK]をクリックする。  
インストールプログラムが起動し、以下の画面が現れます。



10

- 6 キャプチャーソフトおよびビューワーソフトをインストールするディレクトリを指定する。初期設定は、C:\¥DVCAPになっています。別のドライブやディレクトリにインストールしたいときは、書き換えてください。
- 7 「OK」をクリックする。  
以下の画面が現れて、インストール状況を表示します。  
インストールを中止したいときは、「Cancel」をクリックしてください。



- 8 以下の画面が現れたら、指定されたインストールディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブに入れて、「OK」をクリックする。



- 9 以下の画面が現れたら、「OK」をクリックする。  
ソフトウェアのインストールに続いて、ハードウェアのセットアップが行われます。



以下の画面が現れたら、インストールはすべて終了です。(数値は異なることがあります。)

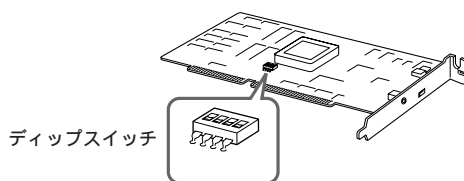


# インストールする(つづき)

## インストール中にエラーメッセージが表示されたときは

メッセージの種類に応じて、以下のいずれかの方法で対処してください。

「I/Oポートの設定が他のものと重複している可能性があります。ボードのスイッチを切り換えて再インストールしてみてください。」が表示されたらパソコンの電源を切り、DVキャプチャーボードを抜いてディップスイッチを切り換える。選択できるアドレスとスイッチの設定は下の表の通りです。お買い上げ時は07F0hに設定されています。



アドレス	SW1	SW2	SW3	SW4
0700H	OFF	OFF	OFF	OFF
0710H	OFF	OFF	OFF	ON
0720H	OFF	OFF	ON	OFF
0730H	OFF	OFF	ON	ON
0740H	OFF	ON	OFF	OFF
0750H	OFF	ON	OFF	ON
0760H	OFF	ON	ON	OFF
0770H	OFF	ON	ON	ON

アドレス	SW1	SW2	SW3	SW4
0780H	ON	OFF	OFF	OFF
0790H	ON	OFF	OFF	ON
07A0H	ON	OFF	ON	OFF
07B0H	ON	OFF	ON	ON
07C0H	ON	ON	OFF	OFF
07D0H	ON	ON	OFF	ON
07E0H	ON	ON	ON	OFF
07F0H	ON	ON	ON	ON

スイッチを切り換えたら、再びボードをパソコンに取り付けてWindowsを起動し、Sony DVCAPグループにある「Board Setup」を選んでください。(詳しくは14ページをご覧ください。)

Sony DVBK-1000 ボードセットアップが起動したら、[OK]をクリックします。(I/Oポートは自動的に検出されます。)



「メモリ空間に空き領域がありません。マニュアルを参照の上、メモリ空間の空き領域をつくってください。」が表示されたら

以下の(1)または(2)の方法で、必要なメモリ空間を確保する。

DVキャプチャーボードキットは、以下のアドレスのいずれかを使用します。使用サイズは32KBです。

アドレス：C0000 - C7FFFH、C8000 - CFFFFH、D0000 - D7FFFH、D8000 - DFFFFH

(1) config.sysファイルでEMM386.EXEの設定を行っているときは：

config.sysをWindowsに付属の「メモ帳」などのテキストエディタで書き換えます。

(例)D0000 - D7FFFHをこのボードで使うとき

DEVICE = C:¥DOS¥EMM386.EXE (....) X=D000-D7FF

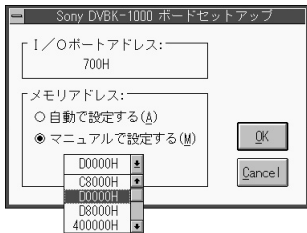
この部分を追加する。  
他の設定  
EMM386.EXEがある  
ドライブおよびパス名

(2) Shadow Memoryの設定を行っているときは：

DVキャプチャーボードが使用するメモリ空間について、Shadowの設定を無効にします。設定の方法はパソコンによって異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

(1)または(2)の設定が終わったら、パソコンを再起動し、Sony DVCAPグループ内にある「Board Setup」を選んでください。(詳しくは14ページをご覧ください)。Sony DVBK-1000ボードセットアップが起動したら、「マニュアルで選択する」を選び、キャプチャーボードが使用するメモリアドレスを選んでから、[OK]をクリックしてください。

(例)D0000 - D7FFFHを使用するとき



# インストールする(つづき)

## ハードウェアの設定を変えたいときは

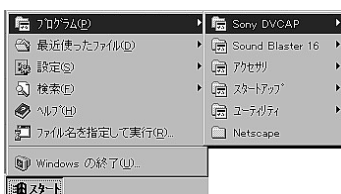
付属の「Board Setup」アプリケーションを使用します。

- 1 Windowsを起動する。
- 2 Windows3.1の場合は、プログラムマネージャを開き、「Sony DVCAP」グループを開く。  
Windows95の場合は、「スタート」メニューから「Sony DVCAP」を選ぶ。

Windows3.1の場合

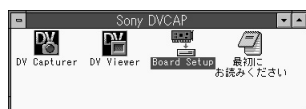


Windows95の場合

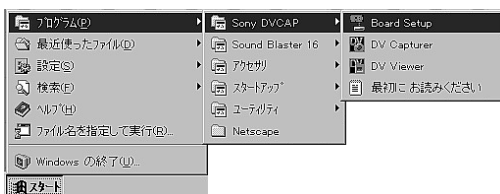


- 3 Windows3.1の場合は、「Board Setup」アイコンをダブルクリックする。  
Windows95の場合は、「Board Setup」を選んで、マウスのボタンを離す。

Windows3.1の場合



Windows95の場合



次の画面が現れます。



- 4 キャプチャーボード上のディップスイッチを切り換えてI/Oポートアドレスを変更したときは、「OK」をクリックする。(I/Oポートアドレスは自動的に検出されます。)  
メモリアドレスを変更したいときは、「マニュアルで設定する」を選んでから変更するアドレスを選び、「OK」をクリックする。

# アンインストールする

プログラムが不要になった場合は、以下の点に注意して、ファイルマネージャなどを使って削除してください。

- ・ Windowsがインストールされているディレクトリのdvcap.iniを削除する。  
このファイルはキャプチャーソフトとビューワーソフトで使用しているファイルです。
- ・ キャプチャーソフトとビューワーソフトをインストールしたディレクトリ（初期設定では ¥DVCAP）からアルバムファイル（拡張子.DVA）と同名のディレクトリを待避する。これらのファイル以外は、削除しても問題はありません。

必要なアルバムも一緒に削除してしまわないようご注意ください。

画像を取り込む (キャプチャー)

# キャプチャーソフトを起動する

- 1 Windowsを起動する。
- 2 Windows3.1の場合は、プログラムマネージャを開き、「Sony DVCAP」グループを開く。  
Windows95の場合は、「スタート」メニューから「Sony DVCAP」を選ぶ。

Windows3.1の場合



Windows95の場合

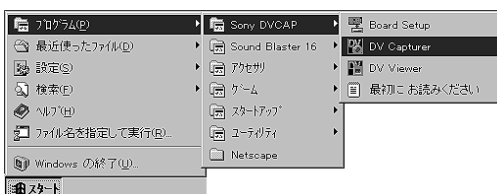


- 3 Windows3.1の場合は、「DV Capturer」アイコンをダブルクリックする。  
Windows95の場合は、「DV Capturer」を選んで、マウスのボタンを離す。

Windows3.1の場合



Windows95の場合



次の画面が現れます。



- 4 新たにアルバムを作るときは、アルバム名を入力し、前に作ったアルバムを見るときは、見たいアルバムをクリックする。  
ファイル名の欄に、アルバムファイル (拡張子.dva) が表示されます。
- 5 [OK]をクリックする。  
次のページの画面が現れます。



# キャプチャー画面の見かた

キャプチャーソフトを起動した直後の画面は下のようになっています。

プレビューウィンドウ  
DV入出力端子からの映像が表示されます。

ツールバー  
メニューバーの項目のうち、よく使う機能がボタン化されています。

タイトルバー  
アルバムファイル名が表示されます。

メニューバー  
各機能をおさめたメニューが並んでいます。



タイムコードウィンドウ  
DV入出力端子から伝送されたテープのタイムコード、日付または時刻が表示されます。

DVファイル表示領域  
取り込んだ画像とそのファイル名、録画情報などはこの領域に表示されます。

VTR操作パネル  
デジタルビデオを操作できます。画像の取り込みもこのパネルを操作して行います。

ステータスバー  
マウスがポイントしている箇所の解説が表示されます。

画像を取り込む  
(キャプチャー)

# 画像を取り込む

くわしい操作方法については、画面上の「ヘルプ」メニューをあわせてご覧ください。

## 1 準備する

- 1 デジタルビデオ機器の電源を入れる。
- 2 取り込みたい画像が録画されているテープをデジタルビデオ機器に入れる。

## 2 画像を取り込む

- 1 VTR操作パネルの▶ をクリックする。  
テープの再生が始まり、プレビュー画面にテープの内容が表示されます。
- 2 操作パネルを使って、取り込みたい画像を探す。
- 3 [CAPTURE] をクリックする。  
押すたびに画像が取り込まれ、DV形式のファイルとなってハードディスク上に保存されます。画像は多めに取り込んでおき、後から削除することをおすすめします。

### ご注意

画像ファイルは、キャプチャーソフト以外（ファイルマネージャやMS-DOSなど）から削除したり名前を変更したり、格納場所を移動したりしないでください。アルバムファイルからDVファイルを探せなくなります。アルバムを開いたときに、探せなかった画像ファイルは青一色になります。

### ビデオカメラの映像を取り込むときは

テープに録画せずに、デジタルビデオカメラで映している映像を直接取り込みたいときは、ビデオカメラの電源を「カメラ」側にし、スタンバイスイッチを「スタンバイ」にします。この場合は、VTR操作パネルからVTRの操作はできません。

保存した画像を見る (ビューワー)

# ビューワーソフトを起動する

- 1 Windowsを起動する。
- 2 Windows3.1の場合は、プログラムマネージャを開き、「Sony DVCAP」グループを開く。  
Windows95の場合は、「スタート」メニューから「Sony DVCAP」を選ぶ。

Windows 3.1の場合

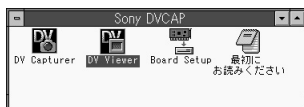


Windows95の場合

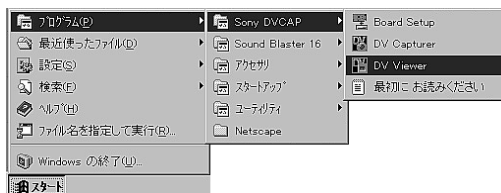


- 3 Windows3.1の場合は、「DV Viewer」アイコンをダブルクリックする。  
Windows95の場合は、「DV Viewer」を選んで、マウスのボタンを離す。

Windows 3.1の場合



Windows95の場合



次のページの画面が現れます。

次のようにしてもビューワーが起動します

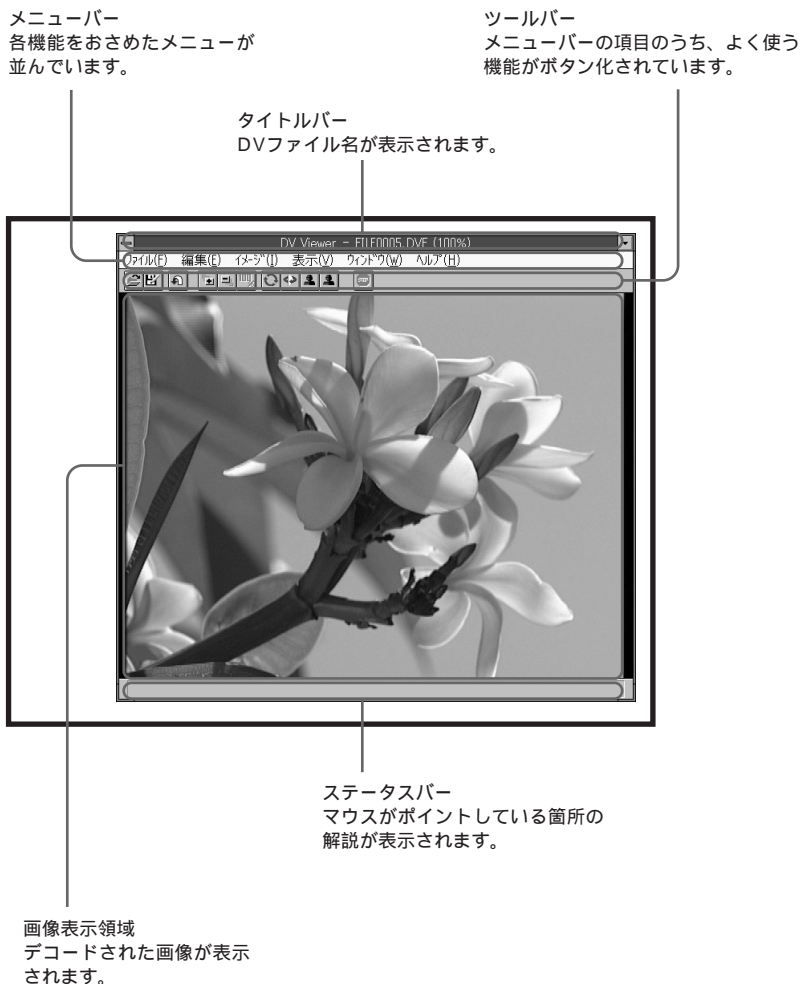
- ・ キャプチャーソフトで取り込んだ画像をダブルクリックする。
- ・ キャプチャーソフトで「画像」メニューの「デコード表示」を選ぶ。
- ・ キャプチャーソフトで「画像」メニューの「スライドショー」を選ぶ。
- ・ ファイルマネージャでDVファイルをダブルクリックする。

(キャプチャーソフトで)  
画像を取り込む

保存した画像を見る  
(ビューワー)

# ビューワー画面の見かた

ビューワーソフトを起動した直後の画面は下のようになっています。



# 画像をデコードして見る

くわしい操作方法については、画面上の「ヘルプ」メニューをあわせてご覧ください。

- 1 ビューワーソフトを起動する。
- 2 デコードしたいファイルを開く。  
「ファイル」メニューから「開く」を選んで、デコードしたいファイルを指定します。  
圧縮されていた画像がデコードされて表示されます。

# 画像をデータ変換して保存する

「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選ぶ。  
画像がビットマップ形式で(拡張子.BMP)保存されます。  
形式を変えて保存しても、元の画像のデータ(DVファイル)は失われません。

保存した画像を見る  
(ビューワー)

その他

# 主な仕様

## DVキャプチャーボード

消費電力	3W以下
使用条件	温度：5 ～35 湿度：20%～80%
DV入出力端子	4ピン特殊コネクタ— IEEE1394準拠
LANC入出力端子	ステレオミニミニジャック、 2.5
最大外形寸法	約191×107mm(横/縦、最大突起部含まず)
動作電源	5V、0.6A
質量	119g

## キャプチャーソフト

### 取り込みファイルフォーマット

DV規格(SD仕様)

### 取り込み枚数

最大100個/アルバム

(使用環境により、ファイル数が制限されることがあります。)

### VTR操作

再生、一時停止、停止、早送り、巻き戻し、スロー(正/逆)、  
ピクチャーサーチ(正/逆)、コマ送り(正/逆)

### プレビュー画面

160×120ピクセル

## ビューワーソフト

### デコード

DVフルデコード

(ノーマル時640×480ピクセル、ワイド時852×480ピクセル)

### 保存形式

BMP形式に変換して保存可能

## その他

### 付属品

7ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

# 故障かな？と思ったら

症状	原因 / 対策
ボードのインストールができない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ I/Oポートアドレスが他のボードなどと重複している。重複しないように設定し直す。(12ページ)</li><li>・ メモリ空間に32KBの空き領域がない。空き領域を作る。(13ページ)</li></ul>
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ DVキャプチャーボードが正しく取り付けられていない。正しく取り付ける。(8ページ)</li><li>・ DVケーブルが正しくつながれていない。正しくつなぐ。(9ページ)</li><li>・ デジタルビデオ機器の電源が入っていない。電源を入れる。(18ページ)</li></ul>
デコードした画像の色調がおかしい	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Windowsの解像度設定が65536色以上に設定されていない。65536色以上に設定する。</li></ul>
VTR操作パネルからビデオを操作できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ LANCが接続されていない。接続する。(9ページ)</li></ul>
以前作成したアルバムを開いたときに、画像ファイルが青一色で表示される。	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ファイルマネージャなどでファイルの削除、移動などを行った。「ファイル」メニューから「アルバムの更新」を選んで更新する。</li></ul>

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- ・ この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・ 所定事項の記入及び記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- ・ 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買いあげ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はボードの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保存しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買いあげ店、サービス窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名：DVBK-1000

故障の状態：できるだけ詳しく

お買い上げ年月日；

お買いあげ店

TEL

お近くのサービスステーション

TEL



# 技術解説

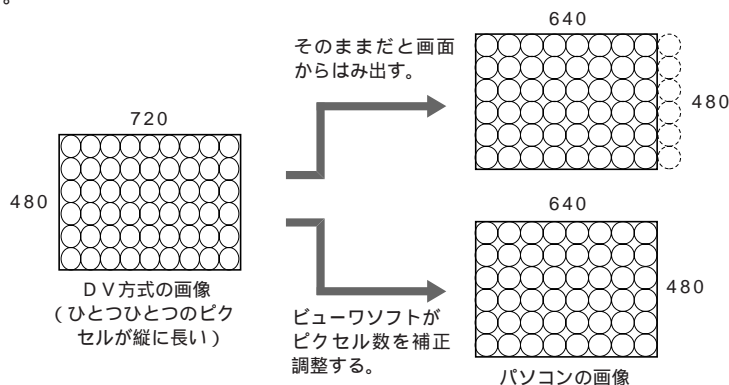
## 画像のピクセル数について

DV方式のデジタルビデオと、IBM PC/AT互換機は、縦横比4:3の画面を異なった数のピクセル（画素）で構成しています。

DV方式...720×480ピクセル

IBM PC/AT互換機...640×480ピクセル

DV方式の方が横方向のピクセル数が多いのは、ひとつのピクセルの形が縦方向に長いからです。コンピューターの画像を構成するピクセルは縦横比が同じであるため、デジタルビデオ機器からの画像をそのままコンピュータ上に表示させると、横に長い画像ができてしまいます。そのため、ビューワーがデコード時に演算を行い、横方向のピクセル数を720から640に変換して表示しています。



## ワイドモード撮影のときは？

ワイドモード撮影時、DV方式のデジタルビデオは、縦横比16:9の画面を横方向に縮め、720×480ピクセルで保存しています。ビューワーは、この映像を一度横方向に引き延ばしてから演算を行い、852×480ピクセルに変換して表示します。

# 技術解説(つづき)

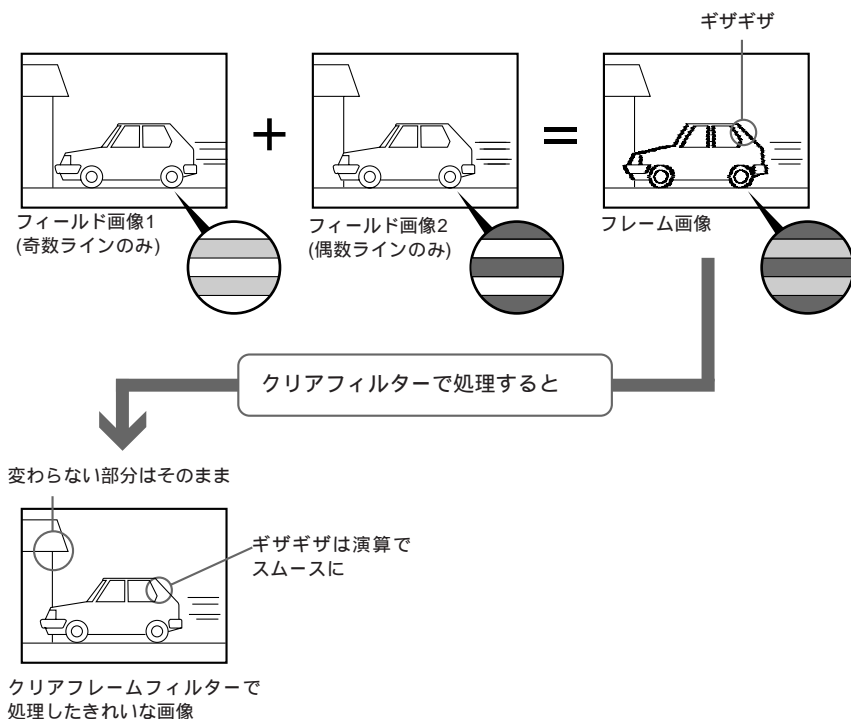
## クリアフレームフィルターについて

テレビの画像は、30分の1秒ごとに新しい映像に書き換えられています。が、一度に全てを書き換えるのではなく、60分の1秒ごとに半分ずつ映像を書き換えていく方式をとっています(インターレース方式)。キャプチャーソフトでは、この30分の1秒ごとの映像(フレーム画像)をパソコン上に取り込んでいますが、動きの激しい場面では、これを構成する2つの映像(フィールド画像)の間にブレが生じて、取り込んだ画像にギザギザが出ることがあります。

このブレを補正し、きれいな静止画像を作るのが、クリアフレームフィルターです。

ビューワソフトで「イメージ」メニューから「インターレース処理」の「動き検出」オプションを選ぶと、クリアフレームフィルターは2つのフィールド画像を比較して、ギザギザの部分だけを抽出します。そしてギザギザの中間を演算によって作りだし、置き換えることによってきれいな画像を作り出します。

「イメージ」メニューから「インターレース処理」の「フィールド」を選ぶと、片方のフィールド画像を補間してフレーム画像を合成します。この方法は動きのはげしい画像に向いていますが、クリアフレームフィルターを使った補正に比較すると、解像度で劣ります。





ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Printed in Japan